



令和2年12月11日

各 位

会 社 名 **株式会社 ティビィシー・スキャット**
代 表 者 代表取締役社長 安田 茂幸
(コード：3974 東証 JASDAQ)
問 合 せ 先 執行役員 IR担当
経営企画室 室長 高橋 栄
(TEL：03-5623-9670)

個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、令和2年10月期の個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和2年10月期通期個別業績と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A)	1,899	157	165	119	82.69
当 期 実 績 (B)	1,576	49	53	28	19.52
増減額 (B) - (A)	△ 322	△108	△111	△91	—
増 減 率	△17.0%	△68.8%	△67.4%	△76.4%	—

2. 差異の理由

前期（令和元年10月期）は、美容サロン向けシステム販売において消費税増税前の需要増により、増収増益となりました。

今期（令和2年10月期）は、コロナ禍の拡大や緊急事態宣言により、美容サロン向けシステム販売が大きく減収し、保守・コンテンツ収入等の課金型ストックビジネスが増益となったものの前期と比べ減収減益となりました。

また、中小企業向けの会計サービスは、地方銀行等とのアライアンスビジネスの推進により新規顧客は増加したものの既存客が一時休業や廃業等の影響を受け、さらに外国人技能実習生の支援サポートは入国制限により大きく減収しました。

これらの結果、当期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は前期に比べてそれぞれ減少いたしました。

なお、通期連結業績につきましては、本日開示いたしました「令和2年10月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

以 上